

ひまわり

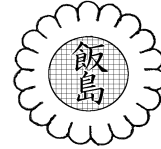
7月号 令和5年6月30日

横浜市立飯島小学校

生きるよろこび

学ぶ楽しさ

のびのび 飯島っ子



自然や人との触れ合い

副校長 細矢 千穂

いよいよ7月。夏休みを目前に控え、今年度は久しぶりにコロナ禍以前の形での水泳学習が始まりました。3年ぶりということで、児童や先生の中にも初めてのことが多くある中、ルールを守りつつ、思い切り水遊び・水泳を楽しんでいます。

さて、6月17日(土)には、地域交流室の皆さん、5、6年生の希望者、教職員で、里山の環境整備を行いました。子どもたちの中から、「里山の階段で気になるところを修理したい。」との声があり、地域交流室室長の横川さんに教わりながら階段づくりに取り組むことになりました。里山の草刈りは、他の地域交流室の方々にお任せしました。(23日(金)には保護者の皆様のご協力のもと、校庭や通学路の草刈りも行っていました。ありがとうございました。)

まずは、材料や道具の用意です。丸太、のこぎり、ハンマーなどを里山まで運びます。荷物を運ぶための一輪車の扱いに慣れておらず、友だちと一緒にバランスをとるのに一苦労でした。

次は、階段の杭と側面の部分の丸太の準備です。長さをそろえて丸太を切ります。丸太と丸太の上に長い丸太を乗せ、長さを揃えてつけたしの部分のをのこぎりで切りますが、「のこぎりはあまりやったことがない。」とか、「うまくできるかな。」などと言いながら、「誰からやる?」と相談し、慎重に切り始めました。横川さんや、先生たちに、「上手、上手。」「いいね～」などと褒められながら、交代しながら切り進めました。

ある程度丸太が切りそろえられたところで、いよいよ階段づくりです。丸太を3本そろえて並べ、それを支えるように2本の杭を打ちます。丸太をそろえて渡す人、丸太と杭を支える人、杭を打つ人、地面を踏み固める人…。いつの間にか、子どもたちは次に何をやるのか考え、必要なことを予想し、「自分は何をしておこうかな。」と自分で仕事を考えてそれぞれに取り組むようになっていました。

もう役割を終えて、やることがなくなった子どもたちは、見つけたミミズをウナギの餌としてウナギ池に運んだり、もう使わないものの片づけを始めたりするなど、それぞれに仕事を見つけて活動を続けました。

1時間半ほどの作業でしたが、キウイ棚の近くに素敵な階段が出来上がりました。完成した階段を見て、自分たちで作りに上げたことに満足気な表情でした。

地域交流室の方や先生たちとの対話を交えつつ、階段の作り方、道具の扱い方を教わり、土に触れ、初めてのことで、あまり慣れていないことに挑戦し、友だちとも協力する。この体験により、限られた時間ではありましたが、成長が感じられました。多くの人に支えられ、いろいろと試し、対話をする中で学びや、次のことを想像することができたこの経験は、きっとこれからの活動にも生きてくるはずです。

あと3週間で夏休みです。ぜひ、この期間にしかできないことに挑戦し、たくさんの自然や人と触れ合い、有意義な夏休みにしていただきたいです。